

第3回修了考査・論文式の考査のテーマの公表について

社団法人 日本不動産鑑定協会
修了考査委員会
委員長 村木信爾

第3回修了考査の論文式の考査に係るテーマを下記のとおり公表します。

第3回修了考査の受験者は、論文式の考査の受験方法及び出題対象をよく確認のうえ、論文を作成、提出して下さい。

なお、修了考査は、論文式の考査と口述式の考査があり、両方を併せて受験することが必要です。

記

第3回修了考査・論文式の考査のテーマ

あなたが自ら行った継続家賃の鑑定評価(注)について、以下の点を述べなさい。

- (1) どのようにして試算賃料の調整と鑑定評価額の決定を行ったか。
- (2) 新規家賃との関連はどのように考えたか。

(注)

論文式の考査における出題対象は、次のとおりです。

今回のテーマに当たる細分化類型等の案件を対象として解答して下さい。

- (1) 修了考査の初回受験者は、実務修習・一般実地演習において履修した23案件の内、指定類型実地演習として報告を行った3類型
- (2) 修了考査の複数回受験者は、実務修習・一般実地演習において、今回の修了考査の再受験のために再履修した13案件の内、指定類型実地演習として報告を行った3類型

論文式の考査の受験方法

論文式の考査は、協会ホームページに公表された論文式の考査のテーマを基に、各自論文を作成のうえ協会実務修習課宛に提出します。次の要領にそって、論文を作成、提出して下さい。

1. 解答論文の提出締切日 平成22年1月25日(月)

郵送の場合、当日消印有効。宅配便等の場合、締切日必着。
持参不可。(持参しても受理しませんのでご注意ください。)

2. 解答論文の提出先及び提出方法

解答論文は、社団法人日本不動産鑑定協会(以下、「協会」という。)実務修習課宛に、原則、書留にて郵送。送付先は、次のとおりです。

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル

社団法人 日本不動産鑑定協会 実務修習課 宛

TEL 03-3434-2301(代)

提出方法として、送付用封筒は、角型2号(日本工業規格A4サイズが入る)を使用し、**解答論文は折らずに送付**のこと。

送付封筒の表書きに、**朱書きにて「修了考査解答論文在中」と記載**。また、封筒に氏名及び**受験番号は必ず記載**のこと。

解答論文の送付に当たっては、1名1封筒により送付して下さい。同一の封筒等に複数名の論文を封入してはなりません。

3. 解答論文に係る指定事項及び書き方

解答論文の指定事項等は、次のとおりです。

判読不明な解答論文は、修了考査対象外としますのでご注意ください。

a. 指定事項

ア. 文字数800字以上1000字以内。

(解答論文の題名、氏名及び受験番号等は文字数には含まないものとする。ただし、句読点、かぎ括弧等の記号は含むものとする。)

イ. 解答論文は、日本語文書作成ソフト(ワード、一太郎等)を搭載したパソコンやワープロ等により作成のこと。手書きによる作成は不可。

ウ. 必須記載事項は、解答論文、受験番号、氏名及び修習生番号

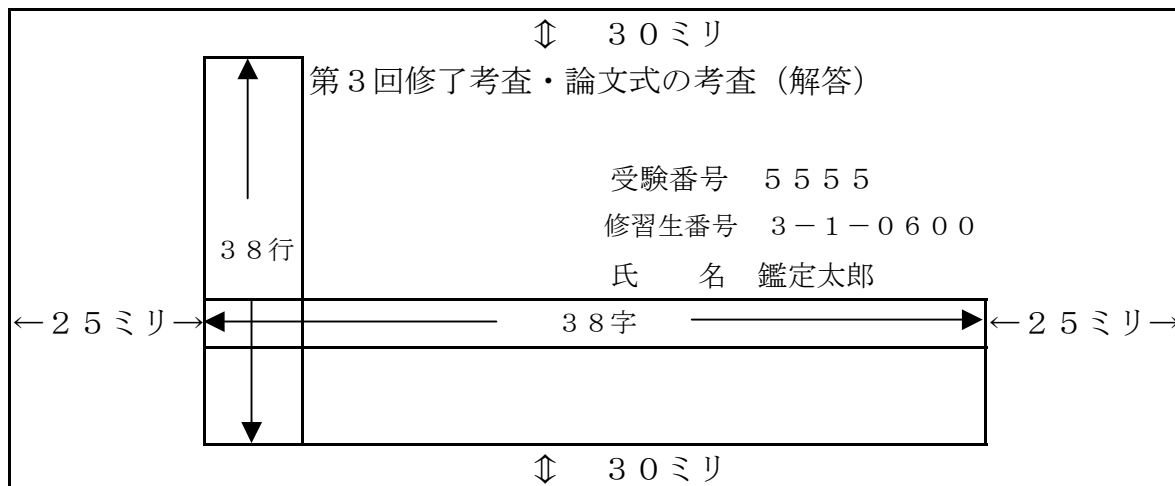
エ. 用紙は、A4用紙1枚、白色上質紙。書式は横書き。

b. 書き方

書式は横書き以外の指定は行いませんが、次の書式見本を参考に、解答論文を作成するようにして下さい。

【 書式例 】

A4用紙1枚、横書き、文字の大きさは12ポイントを標準として、「第3回修了考査・論文式の考査（解答）」との題名を付し、受験番号及び氏名を記す。



※ 書式設定は、目安を表示しています（1行を38文字、38行。用紙の余白幅を上下30ミリ、左右25ミリ）。

4. 論文式の考査に係る注意事項

- a. 他の受験生と同一と認定される論文が提出されたときは両者共に、また、過去の論文と同一の論文と認定される論文が提出されたときは、当該論文を提出した受験生につき、それぞれ修了考査を不合格の取り扱いとします。
- b. 論文のテーマの発表は、ホームページでの公表を原則としていますので、論文テーマに係る通知の遅配、不達等があった場合においても提出締切日に変更はありません。
- c. 指定の方法（郵送書留）以外の方法により、解答論文を提出し、遅延、紛失等した場合には、理由に係らず解答論文は未提出の取り扱いといたします。

5. 問い合わせ先

(社) 日本不動産鑑定協会 実務修習課 電話 03-3434-2301(代)

※ 受付時間は、土日祝日を除く9時から17時までの間（正午から13時までの時間を除く。）

以上